

思考力・判断力・表現力（「活用する力」）を育てるためには、 どのような取組を進めたらよいのだろうか？？？

基礎・基本の定着については、取組が進んでいるが、「活用する力」の育成については、どこから取り組めばよいのだろうか？



こんな取組を始めてみませんか？

「活用する力」が求められる背景を全職員で確認しましょう!!!

情報化やグローバル化が一層加速して進むこれからの社会に生きる子供たちには、予期せぬ様々な課題への対応力が求められます。「既習事項や経験知をもとに深く考える」「より適切なことを判断する」「それぞれの持ち味や持ち手を出し合って、他と共によりよい策を創り出す」等、自らが考え、判断し、他とのコミュニケーションの中でよりよく課題を解決していく力、解のない解をも創造していく力の育成に資する授業づくりを充実していく必要があります。

自校の課題について全職員で確認し、課題解決に向けた取組を共に進めましょう!!!

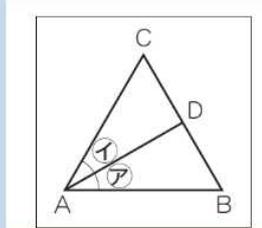
全国的に見ても、「説明する」「必要な情報を選択して処理する」「複数の資料を関連付けて書く」等に課題が見られます。

自校の課題にも同様の傾向が見られますか？成果の見られる学校では、以下の取組が進んでいます。

- ・データを分析し、つまずきの要因を把握。
- ・不足している力を明確化。
- ・力をつけるための方策を検討。
- ・共通実践。
- ・校内授業研究で検証。

全国学力・学習状況調査 B問題から

三角形ABCが正三角形。切り分けた2つの三角形が合同であることをもとに、アの角が30度になるわけを、言葉と数を使って書きましょう。



（正答例）
正三角形の一つの角は 60° です。合同な図形の対応する角の大きさは等しいので、アとイの角は等しくなります。だから、アの角は正三角形の一つの角の半分なので、アの角の大きさは 30° になります。

各教科を横断して見られる課題

「～の性質を基に説明する」「必要な情報を選択して処理する」

「根拠を明確にして/～を関連付けて/ 目的や意図に応じて / 書く」

「基礎・基本」と「活用」のバランスがよい単元(題材)を構成しましょう!!!

【算数科の事例】

ステージ4	実生活の事象における問題や課題を既習事項を使って解決する	活用
ステージ3	既習事項を使って発展的な問題や条件を変更した問題が解ける	
ステージ2	類題が解ける	基本 基礎
ステージ1	基礎的な問題が解ける	
ステージ0	基礎的な問題が解けない	

ステージ2までの学びに終始していませんか？

「基礎・基本」と「活用」は、常に段階を経てステップアップしていくとは限りません。「活用の中で改めて基礎・基本に立ち返る」「基礎・基本を駆使して活用へ向かう」など、両者が一体化し往還しながら深まっていくことが大切です。

□基礎・基本を活用する学習活動が設定されていますか？

□既習事項が使えるよう、子どもたちの実態に応じた支援を具体化していますか？

□よりよい考えを導くためのプロセスを大切にした言語活動が展開されていますか？

（例 誤答から学ぶ学習展開）

【ご案内】本情報交換会は、2市2郡で情報交換を行い、西部圏域のネットワークづくりを図るとともに、西部全体の学力向上もねらっています。今回は、1月に実践を持ち寄り、各校の実践資料の交換を行う予定です。